

工事は「安全第一」で行います。

1. 工事に伴う大部分の作業は、原則として昼間に行います。しかしながら、線路の切替作業や線路接近作業等、終電後でなければできない作業は、夜間に行います。夜間施工に際しては関係地域の皆様には、事前に場所、時間、期間等を通知し、極力地元住民の方々への迷惑等にならないよう、工法、工程を検討して工事を進めていきます。
2. 杭打工事は、騒音、振動をできるだけ減らすような工法で行います。
3. 工事は、準備工や仮線土留杭打工を除き原則として囲いの中でいたします。
4. 工事用車両の出入りにあたっては、ガードマン等を配置し、安全確保に努めます。
5. 工事のため使用する道路は、使用に際しては安全対策に留意し、できるだけ地元の皆様に迷惑を及ぼさないよう配慮して使用します。

工事に関する連絡先

工事は、十分注意して施工いたしますが、至らぬ点や疑問点がございましたら、下記までご連絡下さい。

阪神電気鉄道株式会社 鉄道事業本部 工務部 福工事事務所

☎(06)-475-5534

阪神電鉄西大阪線 神崎川・左門殿川橋梁嵩上げ及び 大和田立体交差工事

- 大阪高潮対策事業による阪神西大阪線神崎川・左門殿川橋梁嵩上げ工事
- 大阪都市計画街路事業による淀川北岸線と阪神西大阪線との立体交差工事



神崎川橋梁の現状



都市計画道路 淀川北岸線
大和田踏切の現状

工事の目的

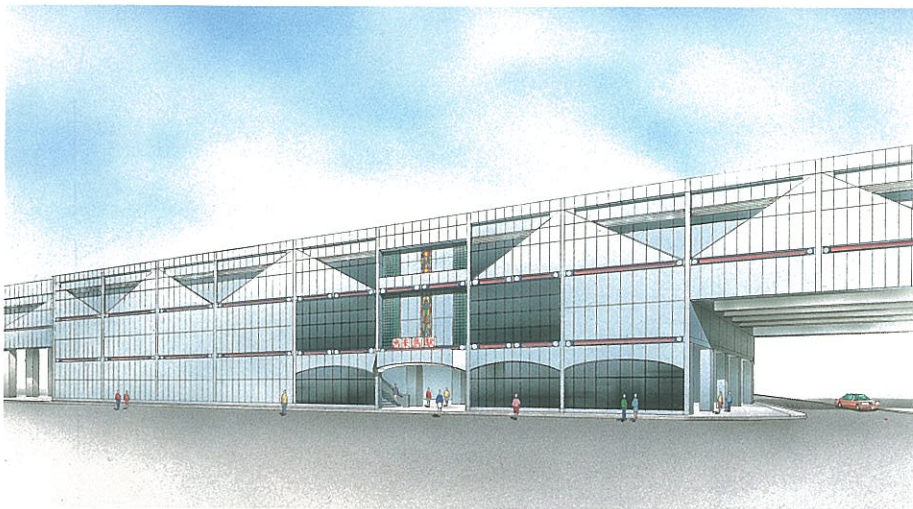
大阪府、兵庫県では、水害に強い都市づくりと鉄道輸送の確保をはかるため、現在、高潮来襲時には列車の運行を停止し、防潮鉄扉の閉鎖が必要となっている阪神西大阪線神崎川橋梁および左門殿川橋梁の嵩上げ工事を高潮対策事業として実施することになりました。

一方、大阪市では、都市計画道路淀川北岸線の道路交通の安全と円滑化をはかるため、現在交通のネックとなっている大和田踏切道の立体交差工事を都市計画街路事業として実施することになりました。

今回の工事は、これらの事業区間が相互に影響するため、重複工事を省き、工期の短縮をはかるため、同時施工することとなりました。

また、これに伴い出来島駅も高架駅となり、あわせて乗降客の利便をはかるためエスカレータ等を設置する予定です。

以上の目的から、本工事推進に向けて、皆様のご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



出来島駅完成予想

工事概要

■工事区間 大物駅～福駅西踏切間 (延長 2,346m)

■事業主体 ・高潮対策事業 大阪府・兵庫県 (延長 1,806m)
・街路事業 大阪市 (延長 540m)

■施工主体 阪神電気鉄道株式会社

■構造形式 河川橋梁
左門殿川橋梁
複線下路式トラス桁 2連(延長145.6m)
神崎川橋梁
複線下路式トラス桁 3連(延長188.5m)
高架、取付区間
ラーメン高架橋及び PC桁高架橋

■駅施設 出来島駅 乗降場延長 6両対応

■除却される踏切道

踏切道名	幅員(m)	道路名
大和田踏切道	25	都市計画道路淀川北岸線
出来島踏切道	6	市道西淀川区第745号線
大野川踏切道	4	市道歌島福村線